



災害時の安全運転（地震編）



災害が発生した場合や被災地で運転する際、二次事故を防ぐためにも、災害時の安全運転について、事前にシミュレーションをしておきましょう。

知っておきたい！もしもの時にすべきこと…

車を運転中に緊急地震速報が発表されたら…

○非常点滅表示灯をつけるなど、周囲の車に注意を促し、急ブレーキを避けて緩やかに減速します。



車を運転中に地震が発生したら…



○急ハンドル、急ブレーキを避け、安全な方法で道路の左側に停止します。

○停止後、地震情報や交通情報などの情報収集を行い、安全な行動をとります。

避難するときは…

○やむを得ない場合を除き、避難のために車を使用するのは控えましょう。
○やむを得ず道路上に車を置いて離れる場合は、道路左端に寄せ、エンジンキーを差したまま避難してください（緊急車両等が通行する際、警察官等が移動させる場合があります。）。

走行するときは…

○道路の陥没によるパンク被害も発生しています。
○信号機の滅灯、交通標識の破損などがある場合、十分な安全確認を行って走行してください。



災害に備えて

- 運動靴、脱出用ハンマーなどを車に積んでおきましょう。
- 気象情報やハザードマップなどを事前に確認し、危険箇所（冠水、津波、土砂崩れ）を把握しておきましょう。



X(旧Twitter)を運用しています。フォローをお願いします!【石川県警察交通安全情報@IP_koutuu_anzen】

【いぬわし君の交通安全Journal】

◇ 毎月1日、15日(土・日・祝の場合、翌平日)に配信します。

◇ 県警のウェブサイトにも掲載しています。www2.police.pref.ishikawa.lg.jp/

